

## 救命病棟に入院し経管栄養管理を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 栄養管理室では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	救命病棟における経管栄養管理に対する早期栄養介入の取組みとアウトカム～管理栄養士の役割について～
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2026年3月31日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 栄養管理室 研究責任者 藤野恵理
【対象となる方】	西暦2023年4月1日から10月31日および2024年4月1日から12月31日に救命病棟に入院し、経管栄養管理を受けた方65名(2023年32名、2024年33名)
【研究の意義、目的、方法】	救命病棟における早期栄養介入において、経管栄養管理患者の経腸栄養開始までの時間が2023年度54時間42分、2024年度29時間55分と有意に短縮しました。経腸栄養開始までの時間の短縮が患者予後に及ぼす影響について調査を行います。経腸栄養開始までの時間が異なることによる予後の結果を分析し、今後の栄養介入の方法を検討します。電子カルテからデータ検索を行い、情報を解析します。
【利用する情報の種類】	電子カルテに登録されている年齢、性別、診療科、病名、入院経路、BMI、血清Alb、CRP、入院時の体重、入院時栄養スクリーニングスコア、低栄養判定、推定必要栄養量、摂取栄養量、言語聴覚士の介入率、離床までの日数、抗生剤投与期間、排便状況、退院時体重の情報を使用します。
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人情報が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。

【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：栄養管理室 藤野恵理 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）
----------	---